

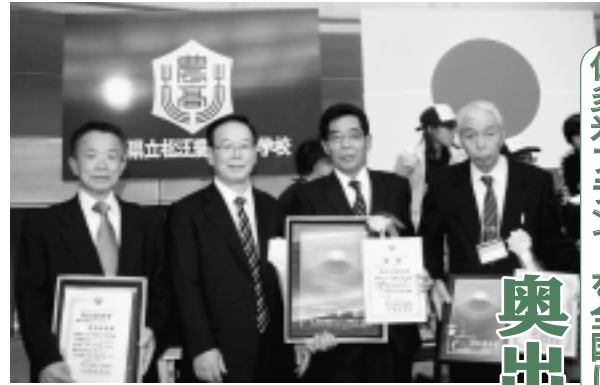
奥出雲仁多米(株) 金賞受賞

第十二回全国米・食味分析鑑定コンクール

食味の優れた新米を選ぶ「第十二回全国米・食味分析鑑定コンクール」(米・食味鑑定士協会主催)が十一月二十日・二十一日、くまびきメッセで開催され、奥出雲仁多米(株)の「コシヒカリ」が、総合部門で金賞を受賞しました。

今回で十二回目となるこのコンクールには、国内外から二千八百四十七品が出品され、この内、奥出雲町からは金賞を受賞した奥出雲仁多米(株)のほか二名五団体が各部門で入賞しました。

今回の受賞は、全国に仁多米の名声を高めたとともに、生産農家の積極的な参加により今後の米づくりへの自信や糧につながることを期待されます。



(左から)渡部さん、鈴木会長、奥出雲仁多米株・藤原部長、杠さん

受賞おめでとうございます

- 総合部門
- 《金賞》
奥出雲仁多米株
- 【コシヒカリ】
(平成十九年の受賞に
続き二回目)
- 《特別優秀賞》
杠 正雄さん(稲原)
- 【コシヒカリ】
- 地域品種栽培部門
(環境王国認定産地部門)
- 《特別優秀賞》
渡部 悦義さん(上阿井)
- 【コシヒカリ】
- 小学校部門
《特別優秀賞》
馬木小学校【コシヒカリ】
三成小学校【
横田小学校【
阿井小学校【
高尾小学校【
- (順不同)

恵まれた米づくり環境 奥出雲町が「環境王国」認定

豊かな自然環境に恵まれ、地域や農業の活性化を目的とする「環境王国」に奥出雲町が認定されました。

これは、米・食味鑑定士会会の鈴木秀之会長が代表を勤める「環境王国認定協議会」が認定するもので全国で十例目となります。

コンクールの受賞と併せて一層の農業振興推進が期待されます。

「日本に生まれてきてよかった!」

究極のご飯の祭典 米(べい)ー(わん)ーグランプリ開催



賑わう会場

の、米粉を使ったドーナツやたい焼きなど、趣向を凝らした多彩なメニューが並び、会場いっぱい約五千人の来場者を楽しませていました。

長い行列ができる店舗や、午前中に売り切れる店舗もあり、出店者からは嬉しい悲鳴

各部門の入賞者

- 料理部門
- 一位「チーズ職人の
チーズリゾット」
【木次乳業(雲南市)】
- 二位「奥出雲バーガー
(メンチカツ)」
【キャロットハウス(下横田)】
- 三位「奥大山おこわ
飯(はん)バーガー」
【おかもと旅館(岡山)】
- スイーツ部門
- 一位「仁多米バームクーヘン」
【桃源洋菓子工房(出雲市)】
- 二位「148パフェ」
【148(亀高)】
- 三位「ライスプリン」
【出雲プリン本舗
(松江市)】



チーズ職人のチーズリゾット



仁多米バームクーヘン

農産物加工グループ「いきいきアグリ馬木」頑張っているリーダー」として表彰

町内の農産物加工グループ「いきいきアグリ馬木」(代表 松島美代子さん)が、県内の農林水産業のけん引者を顕彰するため県が設けた「頑張っているリーダー」表彰を受け、11月19日、県庁で表彰式が行われました。

いきいきアグリ馬木は、加工品の製造販売、食育活動の実施、地元住民の交流の場を提供するなど、馬木地区の良さを地域内外へ幅広く発信しています。このことが、同様の取り組みを行う他グループにとり先導的な役割を果たすとともに、住みやすい地域づくりに貢献しているとされ、このたびの受賞となりました。また、こうした活動や商品の質の良さが認められ、当グループが生産する「奥出雲軒つき餅」は、一畑百貨店のお歳暮商品になっています。

代表の松島さんは「今回の表彰はプレッシャーだが、今後も品質管理に気を遣い、真心を込めて生産販売していきたい」と話されました。



代表の松島美代子さん

人権の大切さを伝える 平成二十一年度 人権標語優秀作品表彰式

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会が募集した「人権標語」

「人権イラスト」に、町内から千六百二十三点の応募があり、十五点の優秀作品(標語十三点、イラスト二点)が選ばれました。

各部門の最優秀作品は次のとおりです。

- 【標語の部】
《最優秀賞》
安部麻菜美さん(備前中津)
「なりたいな
みんなの幸せ
願う人」
- 【イラストの部】
《最優秀賞》
狩野 薫穂さん
(島根デザイン専門学校一年)



イラストの部・狩野さんの作品

和太鼓のリズムにみんな笑顔 炎太鼓と楽しく遊ぼう!

和太鼓の音を体感し、その楽しさや心を解放する心地良さを、子どもたちに感じてもらうようと、十一月十七日、幼児児童交流事業「炎太鼓と楽しく遊ぼう!」が町民体育館で行われました。

この交流会は、役場子育て支援室が主催し、仁多乃炎太鼓のメンバー、町内の保育所・幼稚園児童など約三百五十人が参加しました。

交流会前半では、仁多乃炎太鼓による演奏会が行われました。勇壮で迫力ある響きを、子どもたちは興味深く聴いていました。

子どもたちの中には、太鼓演奏の経験者もいて、一緒にリズムを取りながら演奏を楽しむ姿も見られました。

後半では、子どもたちと炎太鼓のメンバーが一緒に、太鼓演奏を行いました。



太鼓を通じて楽しく交流できました

また最後には、子どもたちと炎太鼓のメンバーが太鼓と鳴子を使って、同じリズムでの演奏に挑戦しました。

全員が太鼓や鳴子のリズムを感じ、みんなと合わせて演奏する楽しさを感じる有意義な時間となりました。